

館長のガラストーク

松島さんの作品は、他の出品作品に比べて格段に小さいものですが、間近に見るその模様の緻密さは驚くべきものです。これは、コアガラスという3500年ほど前に古代オリエントで考案され古代エジプトでも用いられた技法で作られたものです。コアガラスは金属棒の先に粘土などでコア（芯）を作り、棒を回転させながら、熱源の上でコアに熱したガラスを巻きつけ、模様を施し、形を整えたものです。徐冷後、金属棒を抜き取り、残った粘土などを掻き出して仕上げます。主に小さな壺や瓶などが作られました。

松島さんは20代の頃、古代エジプトの小さな瓶に魅了され、独学でその再現を志します。以来37年に亘って試行錯誤を続け、今では世界のガラス界でコアガラス制作の第一人者として認められています。



松島巖「陽刻の錐盤」



コア（スチールウール） 各種のコア（工房内）

コアガラスは2000年ほど前、吹きガラスの普及につれて消滅します。残された作品や断片からでは100%の再現は不可能です。そこには松島さん自身の想像力を駆使した創意工夫も多く含まれているので、松島さんの作品は再現ではなく、新しい創作の側面も持っています。この点で、松島さんは古代ガラスを寸分違わず再現する職人ではなく、古代ガラスにインスパイアされて創造を行う紛れもない現代作家なのです。

そして、古代ガラスが発信するメッセージや謎を読み解きながら、その中に次々と新しい可能性を見出し、他に類を見ない独創的な制作活動が続けているのです。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

<展覧会情報> 「岡山のガラス作家たちPart.2-さまざまな意匠」展2012年9月19日（水）～2013年4月1日（月）

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話（0868）44-7888



みまさかのくに

美作国キャラクター「かたみくん」



美作国キャラクター「かたみくん」

美作国キャラクター「かたみくん」
美作地域の市町村を訪問

美作国キャラクター「かたみくん」が9月26日から28日までの3日間、美作地域の全市町村を訪問しました。鏡野町には、9月27日に鳥取事務局長らと来庁し、山崎町長と面会しました。

鳥取事務局長は、「来年の建国1300年に向け、美作地域を積極的にPRしていきたい。」と語られました。各種イベント等で「かたみくん」を見かけたら、ぜひ声をかけてあげてください。

●お問い合わせ先

〒708-0005

岡山県津山市田町37-5

美作建国1300年記念事業

実行委員会

電話（0868）351-3434

FAX（0868）351-3435

E-mail: info@mimasaka1300.org

http://www.mimasaka1300.org



美作国建国1300年記念プレ事業

吉井川流域今昔写真展

吉井川流域の自然や暮らし、文化財、災害などに関する大正時代～現代までの写真約一六〇枚を解説付きでパネル展示しています。鏡野町の写真も二〇枚程度展示しています。

●津山会場

津山市立文化展示ホール

（アルネ津山4階）

開催期間・平成24年11月1日（木）～5日（月）

開催時間・午前10時～午後5時（最終日午後4時）

●岡山会場

西大寺緑化公園

体験学習施設・百花プラザ

開催期間・平成24年11月22日（木）～25日（日）

開催時間・午前9時～午後5時（最終日午後4時）

主催・吉井川流域今昔写真展

実行委員会

●お問い合わせ先

岡山県文化連盟

電話（086）234-2626

